

プラスチックごみ分別がきちんと出来ていないで困っています。皆さんは気をつけて頂いていると思いますが、プラスチックごみの中に可燃ごみや、空き缶、空きビンなどが混入している事があります。プラスチックごみは、リサイクルの為に手で選別するなど確認作業を行っており、固い物が混入していると作業員

ごみの分別を徹底してください
プラスチックごみ分別がきちんと出来ていないで困っています。皆さんは気をつけて頂いていると思いますが、プラスチックごみの中に可燃ごみや、空き缶、空きビンなどが混入している事があります。プラスチックごみは、リサイクルの為に手で選別するなど確認作業を行っており、固い物が混入していると作業員

飼い犬がいなくなったら
7月には飼い犬がいなくなった、という電話が多くありました。雷の音に驚いて首輪が抜けたり、リードが外れたりしてどこかに行ってしまう事が多いようです。もし、飼い犬がいなくなると気づいたら、役場環境保全課や菊池保健所、大津警察署に連絡を入れて下さい。もし町村境を越える可能性がある場合はその市町村役場へも連絡を入れておきましょう。咬傷事故を起こすなど取り返しのつかない事態にならない為に、万が一の事故などで大切な飼い犬を失わない為にも、リードや首輪が外れないか日頃から確認を行ってください。

また、首輪に連絡先を付けるなど、見つけてくれた人に飼い主が分かるようにしておきましょう。

木ノ駅プロジェクトへの参加山主の募集について
町では、今年度から、「木ノ駅プロジェクト」事業を支援することになりました。

ごみの分別に迷ったら
町ホームページのごみ分別大辞典や役場で配布している分別冊子を見ていただくか、電話で確認してください。

間違いやすいごみ(例)
● 百円ライター、スポンジ、マヨネーズの容器などで洗っていないで汚れのひどい物 → 燃やすごみ
● 洗濯物を干すピンチハンガーなど金属部品が使われている物 → 不燃・埋立ごみ

がケガをしたり、機械が壊れたりする原因になりますし、汚れたプラスチックの混入はきちんと分別されているプラスチックに汚れが移り、きちんと分別されたプラスチックのリサイクルができなくなる可能性があります。今一度ご確認の上、ごみの分別徹底をよろしく願います。



回収されたごみを手作業で分別する様子

THE GOOD LIFE (ザグッドライフ)

A NOTE TO OZU TOWN: IT'S BEEN FUN!

大津町の皆さん、こんにちは!
私の最後の「広報おづ」の記事になります。私の連載を読んでくれて、ありがとうございました。町を歩く時や買い物をする時に、「ブレイク! 記事を読みましたよ!」と声をかけられました。それを聞いて嬉しくなり、また次回のために何か面白い話題を考え始めました。この大津町に住んだ3年間、たくさんの事を体験し、いろいろと楽しみ、充実することが出来、これからの adventure に向かって、自信ができました。

私は今月の10日までいます。日本から離れるのはさまざまな理由でさみしいですが、大津町のあちらこちら(仕事、英会話、幼稚園、保育園、駅でも、ジャスコでも)で会った皆さんのことはずっと記憶に残っています。大津町の皆さんに感謝です。お世話になりました。



8月8日のありがとうコンサートでのブレイクさん



最後の出勤日・役場の仲間と

ウズベキスタンからアッサロームアレイクム

JICA ボランティア青年海外協力隊 職種：青少年活動 おおつかまりこ 大塚麻里子

「ウズベク人のあいさつ」

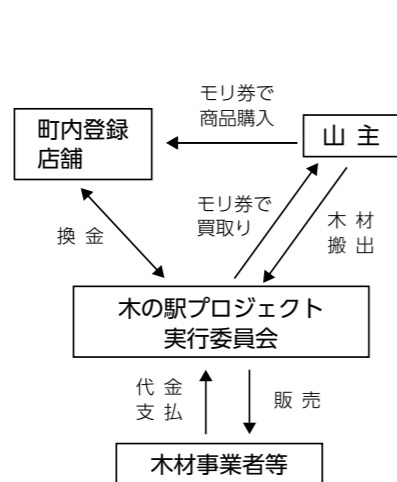
ウズベク人のあいさつは長い。信じられないくらい、とーっても長いんです。「アッサロームアレイクム (こんにちは)」から始まり、その次のあいさつのバリエーションが豊富。日本では「こんにちは」「今日も暑いですね」ぐらいで終わってしまう挨拶ですが、ウズベク人は「こんにちは」の後が長い。よくそんなにも口からペラペラ出てくると感心するほど。どんなことを言っているかと言うと、「元気ですか? 仕事はどう? 家族は元気? 健康ですか? 平和ですか? うまくやってる? 最近何かあった? 退屈してない? 疲れてない?」など無数にあります。これを一気に言うのです。それに対して私は、「うん、うん、いい! ありがとう! いいよ! 全部いいよ! ありがとう! あなたは?」と答えます。調子がよくなってもこう答えます。遅刻しそうで急いでいる時に言われたら、とんでもない。私の自宅アパートから配属先まで徒歩5分。知り合いに会ったら、さらに5分から10分。最初の頃は驚いていましたが、今となっては日常になりました。ところで、ウズベク人は日本人に比べて時間にルーズ。彼らがいつも遅れたり、様々な会の開始時間が遅れたりするのは、この挨拶のせいなのかもしれないです。笑。(写真のモデルはみんな私の学生です。)



最近の男性の若者の挨拶は、握手の後におでこを2回ぶつけます



女性同士の場合は、親戚や仲のいい友達で、左右の頬に3回キスします



このプロジェクトは、林地残材などの資源の有効活用、森林整備、地域経済の活性化の3点を目的としたものです。具体的には、山主が森林内の林地残材や間伐材を「木ノ駅」という集荷場に運び出し、その量に応じて「モリ券」をもらいます。この「モリ券」で、町内の登録店舗で商品を購入でき、地域経済の活性化につなげるというものです。今回、このプロジェクトを実施するにあたり、関心のある山主は、役場または木ノ駅プロジェクト実行委員会事務局までご連絡ください。

● 問い合わせ先

役場環境保全課 エネルギー対策係
☎096(293)3113
木の駅プロジェクト実行委員会事務局
☎096(294)0385 (上田)
☎070(5537)4686(松村)